

## 社会福祉法人 どんぐりの家 令和3年度 運営方針

新型コロナウイルスが、多くの尊い命を奪い、又生活様式も社会全体で大きく変化し、未だ収束の見通しが立っていません。法人として、今後もコロナ等感染症対策を徹底し、安全を優先、確保した事業活動を継続します。

移転計画という大きな事業が、いよいよスタートを迎えます。建物完成までの道のりは長いですが、一步ずつ、着実に確実に前進し、移転完了を目指します。この計画により、将来的に法人の所在地を中心とした「地域の福祉ゾーン」を作ることが出来れば、という思いを持っています。

## 社会福祉法人 どんぐりの家 令和3年度 事業計画

### (1) 通所介護事業所

デイサービスの大きな使命の一つは、「在宅生活を支援する。」ことです。体操等の機能訓練、栄養のある食事、レクリエーション等の余暇活動。「心」と「体」の両面から健康を維持出来る様、一つひとつの活動の意味を考えながら、日々の業務を行います。

新型コロナウイルスを初めとする、各種の感染症対策を徹底する事で、ご利用者もスタッフも安心出来る事業所を目指します。

ご利用者の話に耳を傾け、介護の基本である、「心」を大切に出来るスタッフの育成に努めます。

### (2) 認知症対応型通所介護事業所 どんぐりの家 絆

「認知症となっても、いつまでも住み慣れた地域で、安心して、過ごせるように。」という、開設当時の気持ちに立ち戻り、心穏やかに一日一日を過ごして頂ける雰囲気作りに努めます。

ご利用者の「出来る事」「やりがい」を大切にし、ご利用者は勿論の事、ご家族にも頼りにされる、「気持ち」のある対応を実践します。

狭い空間の為、新型コロナウイルス等各種の感染症対策は、特に徹底して行います。

### (3) 居宅介護支援事業所

ご利用者やご家族から相談を受けた際、「しっかり話を聞いて貰えた。」「この事業所に相談して良かった。」と、安心や満足感を持って頂ける相談業務を行います。

市内に施設資源が増え、入所を希望される場面が増えました。入所への支援をすることは当然ですが、在宅生活を支える立場として、様々な資源を調整や模索することで、在宅生活継続の可能性を提案する事を常に意識して業務を行います。

今年度も、綾部市生活サポート会議や地域包括等主催の事例検討会の場で、様々な支援方法や幅広い視点を勉強し、日々の業務に活かします。

### (4) おこしやす

月曜日から金曜日を開所日として、「綾部市すこやかシニア教室」を実施します。

「体操・口腔ケア・栄養改善」を、主たるテーマとして活動します。音楽に合わせた運動を取り入れたり、季節感を大切にするレクリエーションを行ったりする事で、多方面からの健康維持を目指します。

感染症予防に力を入れ、自宅でも行って頂ける対策をお伝えする事で、おこしやすが「学びの場」となれる様努めます。

### (5) 配食サービス事業所

おひとり暮らしや高齢者世帯、家族は居るが、昼間は仕事等で独りになる方等を対象に、お弁当を配達します。

栄養バランスに十分考慮した、バラエティ豊かな食事の提供を行う事で、食事の面から高齢者の在宅生活を支えます。

お弁当の配達のみならず、必ずお顔を見て手渡しする等「地域の見守り隊」としての役目も果たせるようにします。